

2016年3月期第2四半期累計期間 決算説明資料

2015年11月11日

株式会社日本製鋼所

代表取締役社長 佐藤 育男

ご注意

- ・ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・ 注意書きが無い場合、「当初予想値」は2015年5月20日に開示した数値です。

- P1 ご注意
- P2 目次
- P3 事業部門の構成と製品
- P4 **第1部 2016年3月期第2四半期累計期間(中間期)実績及び通期予想**
- P5 (1) 決算概要
- P6 (2) 営業利益変動要因分析
- P7 (3) セグメント別売上高・営業利益・受注高の状況
- P8 (4) 素形材・エネルギー事業: 主要製品別【売上高・営業利益・受注高】
- P9 (5) 産業機械事業: 主要製品別【売上高・営業利益・受注高】
- P10 (6) 受注残高の状況
- P11 (7) キャッシュ・フロー、財務体質の状況
- P12 **第2部 中期経営計画「JGP2017」の進捗状況**
- P13 (1) 目指す企業像と数値目標
- P14 (2) JGP2017の基本方針
- P19 (3) 事業戦略
- P20 (4) 財務戦略
- P21 **参考資料**

事業部門の構成と製品

事業セグメント	素形材・エネルギー事業	産業機械事業		不動産 その他事業	
製品事業部	鉄鋼事業部	産業機械事業部	特機本部		
生産拠点	<p>室蘭製作所</p> 	<p>広島製作所</p>  <p>横浜製作所</p> 			
製品	<p>【鍛造鋼製品】 ○電力・原子力</p>  <p>○その他 ・製鉄用鉄鋼ロール ・金型用鋼</p> <p>【鋼板・鉄構製品】 ○石油精製用圧力容器</p>  <p>○クラッド鋼板・鋼管</p>  <p>【風力発電機器】</p>  <p>○水素蓄圧器</p> 		<p>【樹脂機械】 ○樹脂製造・加工機械 ・造粒機 ・フィルムシート装置 ・二軸混練押出機 (TEX・TEK)</p>  <p>【その他機械】 ○軽合金射出成形機 ・マグネシウム合金射出成形機</p>  <p>○成形機 ・プラスチック射出成形機 ・中空成形機</p>  <p>○IT関連機器 ・レーザアニール (ELA) 装置 ・成膜装置</p>  <p>○防衛関連機器 ○圧縮機 ○鉄道製品</p>		○社有地 有効活用
市場	<p>電力・鉄鋼 石油・天然ガス 自然エネルギー</p>		<p>石油化学 産業機械 自動車 IT 防衛</p>		不動産賃貸

第1部 2016年3月期第2四半期累計期間(中間期)実績
及び通期予想

(1) 決算概要

(単位:億円)

《中間期》

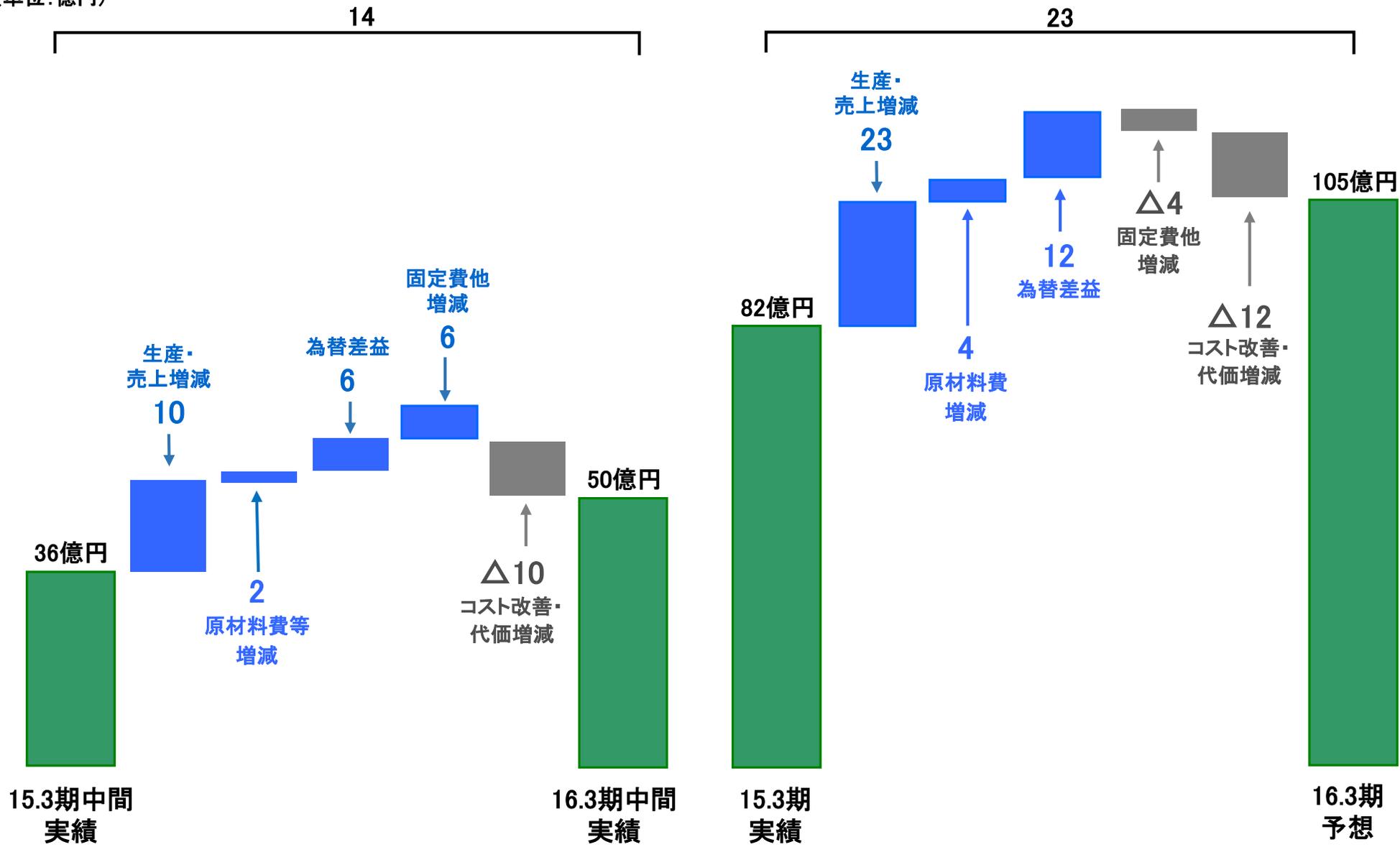
《通期》

	15.3期	16.3期		
		当初予想 (A)	実績 (B)	当初比 (B)-(A)
受注高	1,018	860	962	102
売上高	941	965	946	△ 19
営業利益 (率)	36 3.8%	33 3.4%	50 5.3%	17
経常利益	48	35	53	18
純利益	▲ 73	20	32	12
1株当たり 純利益(円)	▲ 19.85	5.40	8.84	3.44
1株当たり 配当金(円)	2.0	2.5	2.5	0.0

	15.3期	16.3期		
		当初予想 (C)	予想 (D)	当初比 (D)-(C)
受注高	2,059	2,100	2,100	0
売上高	1,946	2,100	2,100	0
営業利益 (率)	82 4.2%	100 4.8%	105 5.0%	5
経常利益	99	105	110	5
純利益	▲ 37	67	67	0
1株当たり 純利益(円)	▲ 10.10	18.09	18.24	0.15
1株当たり 配当金(円)	4.0	5.0	5.0	0.0

(2) 営業利益変動要因分析

(単位: 億円)



(3) セグメント別売上高・営業利益・受注高の状況

(単位:億円)

素形材・エネルギー事業

	15.3期 中間 (A)	16.3期中間		15.3期 通期 (C)	16.3期通期			
		実績 (B)	前年比 (B)-(A)		当初予想 (D)	予想 (E)	前年比 (E)-(C)	当初比 (E)-(D)
受注高	418	180	△ 238	684	580	525	△ 159	△ 55
売上高	341	313	△ 28	662	775	775	113	0
営業利益 (率)	△ 21 -6.3%	△ 4 -1.4%	17	△ 32 -4.8%	0 0.0%	△ 5 -0.6%	27	△ 5

産業機械事業

	15.3期 中間 (A)	16.3期中間		15.3期 通期 (C)	16.3期通期			
		実績 (B)	前年比 (B)-(A)		当初予想 (D)	予想 (E)	前年比 (E)-(C)	当初比 (E)-(D)
受注高	590	770	180	1,353	1,500	1,555	202	55
売上高	590	621	31	1,263	1,305	1,305	42	0
営業利益 (率)	60 10.2%	53 8.5%	△ 7	113 8.9%	110 8.4%	120 9.2%	7	10

(4) 素形材・エネルギー事業：主要製品別【売上高・営業利益・受注高】

(単位：億円)

売上高・営業利益

	16.3期 中間実績	15.3期 通期実績 (A)	16.3期通期			
			当初予想 (B)	予想 (C)	前年比 (C)-(A)	当初比 (C)-(B)
電力・原子力	77	274	230	210	△ 64	△ 20
石油精製用圧力容器	7	42	30	30	△ 12	0
クラッド鋼板・鋼管	155	162	410	390	228	△ 20
風力発電機	8	57	10	10	△ 47	0
その他	30	70	50	65	△ 5	15
連結会社他	36	57	45	70	13	25
合計	313	662	775	775	113	0
営業利益	△ 4	△ 32	0	△ 5	27	△ 5

受注高

	16.3期 中間実績	15.3期 通期実績 (D)	16.3期通期			
			当初予想 (E)	予想 (F)	前年比 (F)-(D)	当初比 (F)-(E)
	54	147	210	175	28	△ 35
	5	30	30	30	0	0
	30	421	200	180	△ 241	△ 20
	4	△ 26	5	5	31	0
	50	55	70	70	15	0
	37	57	65	65	8	0
	180	684	580	525	△ 159	△ 55

(5) 産業機械事業：主要製品別【売上高・営業利益・受注高】

(単位：億円)

売上高・営業利益

	16.3期 中間実績	15.3期 通期実績 (A)	16.3期通期			
			当初予想 (B)	予想 (C)	前年比 (C)-(A)	当初比 (C)-(B)
樹脂製造・加工機械	155	325	330	330	5	0
成形機（連結）	286	536	550	550	14	0
その他	105	250	265	265	15	0
連結会社他	75	152	160	160	8	0
合計	621	1,263	1,305	1,305	42	0
営業利益	53	113	110	120	7	10

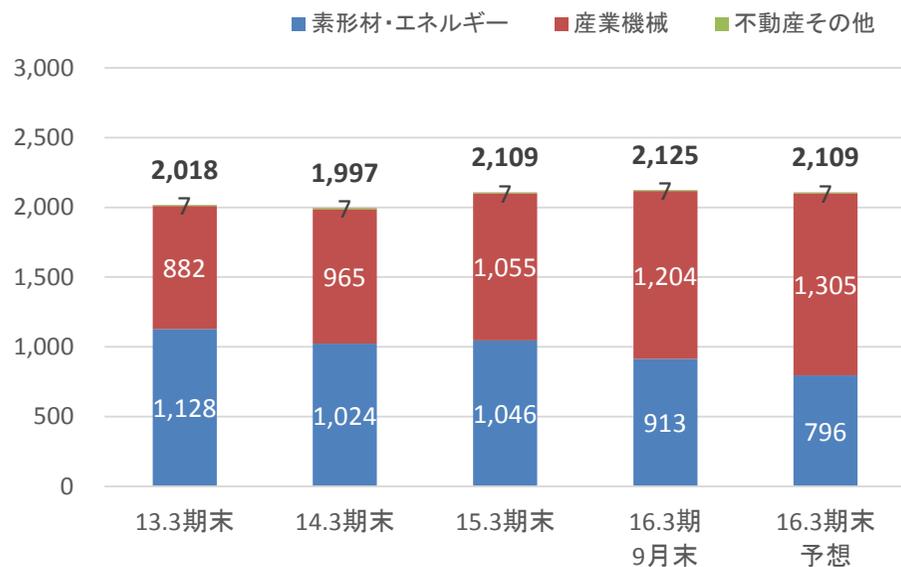
受注高

16.3期 中間実績	15.3期 通期実績 (D)	16.3期通期			
		当初予想 (E)	予想 (F)	前年比 (F)-(D)	当初比 (F)-(E)
183	319	380	380	61	0
321	545	575	590	45	15
190	319	365	385	66	20
76	170	180	200	30	20
770	1,353	1,500	1,555	202	55

(6) 受注残高の状況

セグメント別受注残高の推移

(単位: 億円)



「電力・原子力」受注残高の推移

(単位: 億円)



(7) キャッシュ・フロー、財務体質の状況

(単位: 億円)

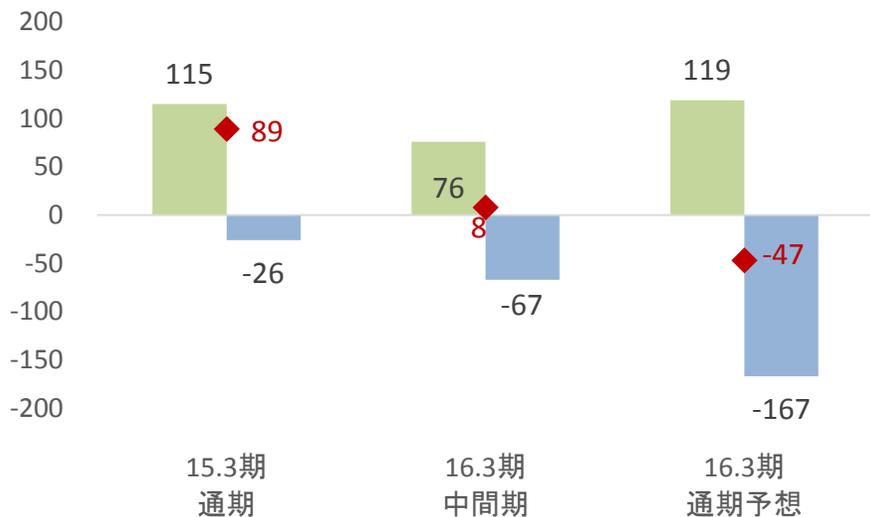
【設備投資・減価償却費の推移】



【キャッシュ・フローの状況】

(単位: 億円)

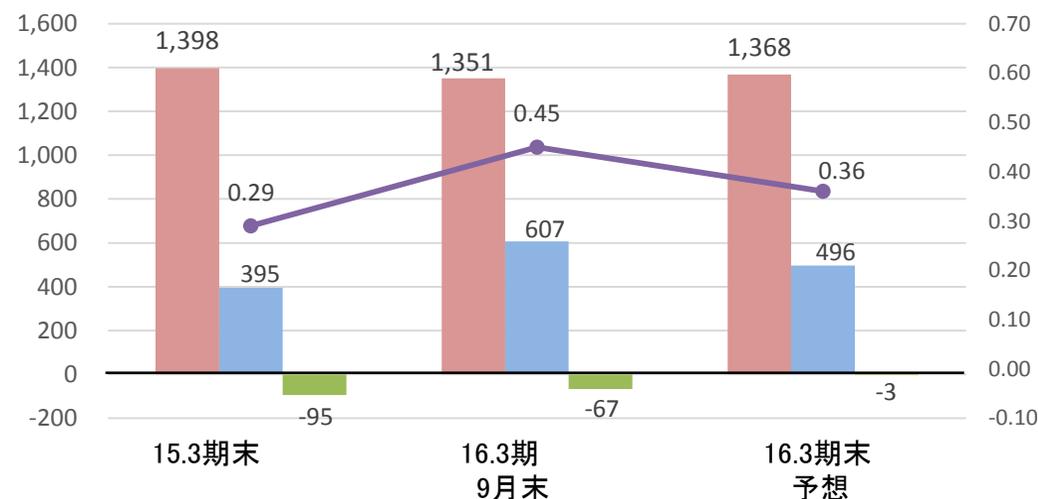
■ 営業キャッシュ・フロー ■ 投資キャッシュ・フロー ◆ フリーキャッシュ・フロー



【財務体質の状況】

(単位: 億円)

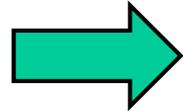
■ 純資産 ■ 有利子負債 ■ 純有利子負債 ◆ D/ELシオ



第2部 中期経営計画「JGP2017」の進捗状況

(1) 目指す企業像と数値目標

『グローバル&ニッチトップ企業グループへの飛躍』
顧客のバリューチェーンの要衝においてトップシェアを目指す



「2020年:売上高2,500億円への再挑戦」

JSWグループ: (連結)	2014年度 (実績)	⇒	【JGP2017】 2017年度 (計画)	⇒	2020年度 (目標)
◇ 売上高 :	1,946億円		2,200 億円以上		2,500 億円以上
◇ 営業利益 : (率)	82億円 (4.2%)		130 億円以上 (6%)		200 億円以上 (8%)
◇ ROA :	△1.2%		3% 以上		4% 以上
◇ ROE :	△2.7%		5% 以上		8% 以上(*)

*収益力強化と資産効率の向上を図り、ポストJGP2017の早期にROE 8%以上を目指す。

(2) JGP2017の基本方針

基本方針

方針1. 現有事業の収益力拡大

- ◆製品・サービスの差別化推進
- ◆トータルコスト競争力の強化
- ◆サービス&ソリューション事業の開拓
- ◆成長市場における展開強化

方針2. 新製品・新規事業の育成・ 早期戦力化

- ◆保有経営資源をコアとする事業化の推進
- ◆時間軸と推進体制の適正化

方針3. グループ経営の強化とアライアンスの推進



アクションプランによる経営管理の徹底 (PDCAの実行)

基本方針に沿ってアクションプランを順次実践中

(2) JGP2017の基本方針 I. 現有事業の収益力拡大 ① 素形材・エネルギー事業

素形材・エネルギー事業

競争力強化

【電力・原子力製品】

- ・670トン鋼塊製大型一体LPロータの本格展開
- ・コスト競争力の強化・競争優位性の堅持による海外新設案件の確注

- ➡ 原子力は英国・中国・トルコの三地域を重点的にフォロー
- ➡ 火力は差別化製品を強化、また短納期対応で国内外需要を取込み

事業拡大

【クラッド鋼板・鋼管】

- ・設備投資・生産性向上
- ・天然ガスPJ案件の対応強化・仕様拡大

- ➡ 今年度売上予想: 390億円
- ➡ 中計期間中、年間200億円規模の受注確保へ

事業最適化

【石油精製用圧力容器】

- ・競争優位分野への特化
- ・サービス・メンテナンス事業の拡充

【小型鍛鋼品】

- ・アライアンスによるローカライゼーションへの対応と深化

【風力発電機器】

- ・ビジネスモデルの再構築

- ➡ 水素蓄圧機等の新規製品を拡充
- ➡ インドLTSSHF社とのアライアンスを推進中
- ➡ 不適合の改修工事に注力中

(2) JGP2017の基本方針 I. 現有事業の収益力拡大 ② 産業機械事業

産業機械事業

競争力強化

【造粒機】

- ・シェルガス用大型造粒機拡販
- ・新規サービス事業の展開

【レーザーアニール装置】

- ・高精細パネル用差別化技術開発
- ・サービス事業強化(中国)



大容量化対応加速
ロシア・CIS強化



ELA装置の需要拡大とサービス事業の更なる伸長

事業拡大

【フィルム・シート装置、二軸混練押出機】

- ・フルライン・システム対応強化
- ・グローバル展開加速(中国プラスワンほか)
- ・アライアンスによる事業領域の拡大

【中・大型射出成形機】

- ・生産体制の増強・再配置 ・新シリーズの投入・拡販

【防衛関連機器】

- ・長期計画に基づく生産体制の強化



同時二軸延伸事業買収
セパレータフィルム製造装置の需要拡大
韓国SM PLATEK社買収
二軸混練押出機の世界戦略加速



J-ADSシリーズ拡販
名機製作所とのシナジー加速



生産工場・設備増強

事業最適化

【小型射出成形機】

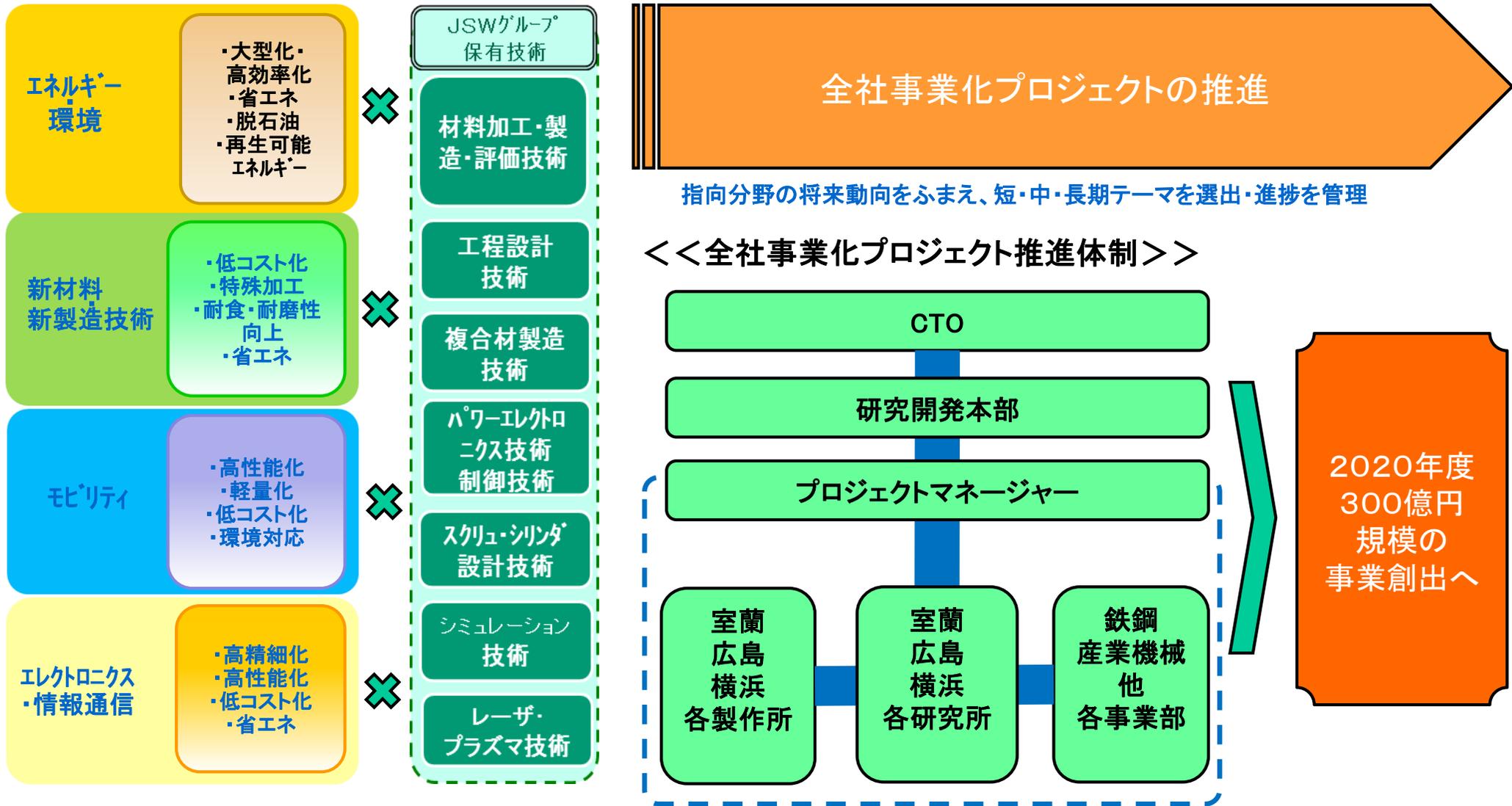
- ・アライアンスの深化による製品競争力の強化



2016年度小型ADSシリーズ投入へ
東洋機械金属とのアライアンス加速

(2) JGP2017の基本方針 II.新製品・新規事業の育成・早期戦力化

新規事業300億円達成（2020年）へ向けた全社的な取組み強化



(2) JGP2017の基本方針 Ⅲ.グループ経営の強化とアライアンスの推進

アライアンスの推進

JGP2014で実施したアライアンスをさらに深化へ

【成形機】

- ・東洋機械金属(株)との新小型ADSシリーズの共同開発推進

【樹脂機械】

- ・韓国SM PLATEK社の連結子会社化
- ・同時二軸延伸機事業買収に伴うフィルム・シート製造装置の受注拡大

【鍛鋼品】

- ・インドLTSSH社との技術供与の進展

【成膜事業】

- ・JSWアフティのECRプラスマ成膜装置の需要拡大

シナジー効果の最大化を追求

JSWグループで
2500億円

JSWグループの
ものづくり力強化

更なる関連会社の再編
や販売体制の強化等を
検討

グループ経営強化

(3) 事業戦略

セグメント別事業戦略

素形材・エネルギー事業

「守りの経営」による緩やかな事業伸長とポストJGP2017における再成長を睨んだ布石

投下資本の圧縮

- ・設備の合理化
- ・人材再配置
- ・原価低減策の推進

事業領域の見直し

- ・「利益型製品」の強化
- ・「操業型製品」の量の確保
- ・新規製品の拡張
- ・不採算事業の見直し

室蘭再構築プロジェクト(MRP)

【2014年度】
売上高 662億円
営業利益 ▲32億円

【2015年度】
売上高 775億円
営業利益 ▲5億円

黒字化

【2017年度】
売上高 660億円
営業利益 0億円

産業機械事業

「攻めの経営」による成長機会の発掘と事業伸長の加速

戦略的に資本を投入

- ・広島・横浜製作所の生産能力増強
- ・人員増強
- ・戦略的アライアンスの推進

事業領域の拡大

- ・サービス事業の強化
- ・韓国SM PLATEK買収
- ・フィルムシート「同時二軸延伸事業」買収
- ・J-ADSシリーズ*拡販
- ・成膜事業の拡張
他

【2014年度】
売上高 1,263億円
営業利益 113億円

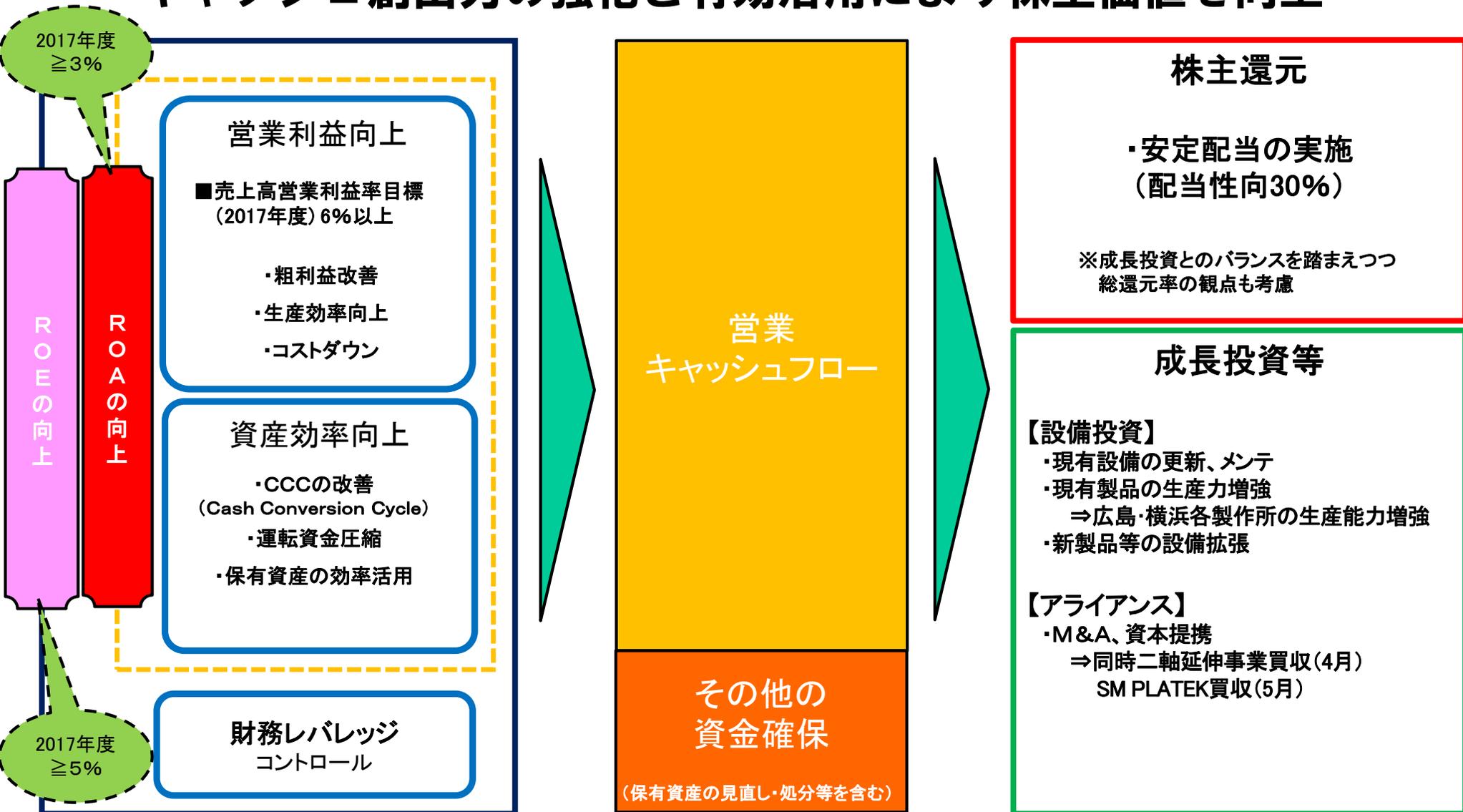
【2015年度】
売上高 1,305億円
営業利益 120億円

安定利益の創出と伸長

【2017年度】
売上高 1,520億円
営業利益 140億円

(4) 財務戦略

キャッシュ創出力の強化と有効活用により株主価値を向上



参考資料

主要製品別受注高の推移

(単位:億円)

	11.3期	12.3期	13.3期	14.3期	15.3期	16.3期予想	
電力・原子力	528	299	183	226	147	175	
石油精製用圧力容器	38	49	37	46	30	30	
クラッド鋼板・鋼管	370	228	200	194	421	180	
風力発電機	△ 109	19	80	3	△ 26	5	
その他	105	111	75	49	55	70	
連結会社他	56	73	38	53	57	65	
素形材・エネルギー 計	988	780	613	571	684	525	
樹脂製造・加工機械	336	373	282	324	319	380	
成形機	連結	351	362	467	457	545	590
	単体	273	268	295	271	370	390
その他	331	287	316	414	319	385	
連結会社他	138	166	145	71	170	200	
産業機械 計	1,156	1,188	1,210	1,266	1,353	1,555	
不動産その他 計	23	23	22	27	20	20	
合計受注高	2,168	1,993	1,846	1,865	2,059	2,100	

主要製品別売上高の推移

(単位:億円)

	11.3期	12.3期	13.3期	14.3期	15.3期	16.3期予想	
電力・原子力	433	490	374	226	274	210	
石油精製用圧力容器	284	55	43	41	42	30	
クラッド鋼板・鋼管	147	317	293	267	162	390	
風力発電機	90	39	11	17	57	10	
その他	102	89	123	72	70	65	
連結会社他	73	60	38	53	57	70	
素形材・エネルギー 計	1,129	1,050	882	676	662	775	
樹脂製造・加工機械	265	338	370	283	325	330	
成形機	連結	320	347	409	470	536	550
	単体	243	249	261	310	339	355
その他	232	325	377	318	250	265	
連結会社他	159	127	145	112	152	160	
産業機械 計	976	1,139	1,301	1,183	1,263	1,305	
不動産その他 計	24	24	22	27	20	20	
合計売上高	2,129	2,213	2,206	1,887	1,946	2,100	